

四半期報告書

(第62期第1四半期)

自 平成24年9月21日

至 平成24年12月20日

マルサンアイ株式会社

目 次

	頁
【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営上の重要な契約等】	3
3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの分析】	3
第3 【提出会社の状況】	6
1 【株式等の状況】	6
2 【役員の状況】	7
第4 【経理の状況】	8
1 【四半期連結財務諸表】	9
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年1月28日

【四半期会計期間】 第62期第1四半期(自 平成24年9月21日 至 平成24年12月20日)

【会社名】 マルサンアイ株式会社

【英訳名】 MARUSAN-AI CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 青木春雄
代表取締役社長 伊藤明德

【本店の所在の場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【最寄りの連絡場所】 愛知県岡崎市仁木町字荒下1番地

【電話番号】 0564-27-3700

【事務連絡者氏名】 取締役管理統括部長 渡辺邦康

【縦覧に供する場所】 株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第61期 第1四半期 連結累計期間		第62期 第1四半期 連結累計期間		第61期	
	自 至	平成23年9月21日 平成23年12月20日	自 至	平成24年9月21日 平成24年12月20日	自 至	平成23年9月21日 平成24年9月20日
売上高 (千円)		5,491,221		5,848,426		21,037,738
経常利益 (千円)		191,064		331,978		446,535
四半期(当期)純利益 (千円)		90,862		196,802		204,438
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		82,905		191,055		204,015
純資産額 (千円)		2,757,700		3,009,842		2,888,281
総資産額 (千円)		16,240,582		16,735,482		15,918,361
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)		7.91		17.14		17.81
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)						
自己資本比率 (%)		16.9		17.9		18.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等は行われておりません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間（平成24年9月21日～平成24年12月20日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に、景気の緩やかな回復傾向がみられたものの、欧州の財政危機、新興国経済の減速など、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

食品業界全般におきましては、少子高齢化や景気の先行き不安による消費マインドの悪化、世界的な穀物価格の高止まり等、市場環境は厳しい状況にあります。

みそ業界におきましては、企業間競争等による販売単価の下落、出荷数量の減少傾向が続くなど、厳しい市場環境で推移しております。

豆乳業界におきましては、健康志向の高まりを背景に市場は堅調に推移いたしました。

このような環境の中で、当社は消費者の皆様方に安全で安心できる製品の提供に努めるとともに、事業の効率化やコスト削減に努め、経営基盤の強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は、58億48百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は、2億99百万円（前年同期比44.8%増）、経常利益は、3億31百万円（前年同期比73.8%増）、四半期純利益は、1億96百万円（前年同期比116.6%増）となりました。

みそ事業

みそ事業全体が伸び悩んだため、売上高は、16億18百万円（前年同期比2.0%減）となりました。

a. 生みそ

みそ市場全体が漸減傾向にある中、出荷数量の減少に加えて低価格志向により販売単価が下落したため、売上高は、11億69百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

b. 調理みそ

シーズン序盤の残暑の影響により、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、3億46百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

c. 即席みそ

特定企業向けの製品の出荷の減少、競合他社との販売の激化により、売上高は、1億3百万円（前年同期比2.5%減）となりました。

豆乳飲料事業

豆乳が堅調に推移し、売上高は、38億59百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

なお、持分法適用関連会社のアメリカン・ソイ・プロダクツ INC.につきましては、持分法による投資損失3百万円を営業外費用に計上しております。

a. 豆乳

健康志向の高まりを背景に堅調に推移し、売上高は、31億32百万円（前年同期比15.8%増）となりました。

b. 飲料

ミネラルウォーターの出荷が好調だったものの、受託製造品、果汁飲料、茶系飲料の出荷が減少したため、売上高は、7億26百万円（前年同期比4.8%減）となりました。

その他食品事業

シーズン序盤の残暑の影響により、ストレート鍋スープの販売の出足が悪かったため、売上高は、3億70百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

(2) 財政状態の分析

資産

流動資産は、88億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億51百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、受取手形及び売掛金の増加3億5百万円、商品及び製品の増加2億84百万円等によるものであります。

固定資産は、78億55百万円となり、前連結会計年度末に比べ65百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、機械装置及び運搬具の減少62百万円等があったものの、有形固定資産のその他に含まれている建設仮勘定の増加1億64百万円等によるものであります。

この結果、資産合計は、167億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億17百万円増加いたしました。

負債

流動負債は、90億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億15百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、未払金の増加3億39百万円、支払手形及び買掛金の増加2億54百万円等によるものであります。

固定負債は、46億64百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億80百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、長期借入金の増加2億27百万円等によるものであります。

この結果、負債合計は、137億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億95百万円増加いたしました。

純資産

純資産合計は、30億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億21百万円増加いたしました。増加の主な要因といたしましては、利益剰余金の増加1億27百万円等によるものであります。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は、15百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、研究開発活動に重要な変更はありません。

(4) 主要な設備

前連結会計年度末において計画であった主要な設備の新設、休止、大規模改修、除却、売却等について、前連結会計年度末には計画しておりませんでした。当第1四半期連結累計期間において、新たに確定した主要な設備の新設の計画は、次のとおりであります。

会社名	事業所名 (所在地)	セグメント の名称	設備の内容	投資予定額		資金調達方法	着手年月	完了予定	完成後の 増加能力
				総額 (千円)	既支払額 (千円)				
マル サン アイ 株式 会社	本社・本社 工場（愛知 県岡崎市）	みそ事業	みそ製品 工場統合 に伴う追 加工事	84,500		自己資金及び借 入金	平成24年 12月	平成25年 3月	

(注) 金額には消費税等を含んでおりません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年12月20日)	提出日現在発行数(株) (平成25年1月28日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	11,480,880	11,480,880	名古屋証券取引所 市場第二部	単元株式数：1,000株
計	11,480,880	11,480,880		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月21日～ 平成24年12月20日		11,480,880		865,444		612,520

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年12月20日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 1,000		権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,458,000	11,458	同上
単元未満株式	普通株式 21,880		同上
発行済株式総数	11,480,880		
総株主の議決権		11,458	

(注) 1 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式651株が含まれております。

2 当第1四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成24年9月20日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【自己株式等】

平成24年12月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) マルサンアイ株式会社	愛知県岡崎市仁木町字荒 下1番地	1,000		1,000	0.01
計		1,000		1,000	0.01

(注) 当第1四半期会計期間末日現在の自己株式数は、1,651株であります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成24年9月21日から平成24年12月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年9月21日から平成24年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表について、三優監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,977,729	2,051,312
受取手形及び売掛金	3,358,657	3,664,439
商品及び製品	693,308	977,435
仕掛品	526,226	481,367
原材料及び貯蔵品	451,041	453,829
その他	1,130,355	1,260,238
貸倒引当金	8,955	8,677
流動資産合計	8,128,363	8,879,945
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,625,752	2,597,940
機械装置及び運搬具（純額）	1,775,539	1,712,922
土地	2,642,135	2,642,135
その他（純額）	96,983	260,580
有形固定資産合計	7,140,410	7,213,578
無形固定資産	83,829	83,952
投資その他の資産		
投資有価証券	441,428	435,151
その他	141,542	140,044
貸倒引当金	17,213	17,191
投資その他の資産合計	565,757	558,004
固定資産合計	7,789,998	7,855,536
資産合計	15,918,361	16,735,482

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年12月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,825,761	3,079,910
1年内返済予定の長期借入金	2,224,895	2,306,691
未払法人税等	125,797	131,488
賞与引当金	360,441	159,999
工場再編損失引当金	19,000	19,000
未払金	2,598,165	2,937,672
その他	391,937	426,531
流動負債合計	8,545,998	9,061,293
固定負債		
長期借入金	2,655,394	2,883,386
退職給付引当金	1,418,433	1,396,619
資産除去債務	194,099	194,864
その他	216,155	189,476
固定負債合計	4,484,081	4,664,346
負債合計	13,030,079	13,725,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	865,444	865,444
資本剰余金	635,039	635,039
利益剰余金	1,479,676	1,607,604
自己株式	675	675
株主資本合計	2,979,484	3,107,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,418	11,250
為替換算調整勘定	101,488	108,341
その他の包括利益累計額合計	112,906	119,591
少数株主持分	21,703	22,021
純資産合計	2,888,281	3,009,842
負債純資産合計	15,918,361	16,735,482

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成24年12月20日)
売上高	5,491,221	5,848,426
売上原価	3,915,267	4,175,641
売上総利益	1,575,953	1,672,784
販売費及び一般管理費	1,369,331	1,373,571
営業利益	206,622	299,213
営業外収益		
受取利息	354	431
技術指導料	1,935	4,471
不動産賃貸収入	5,462	5,975
デリバティブ評価益	8,363	27,627
為替差益	4,067	11,535
その他	5,614	4,088
営業外収益合計	25,798	54,129
営業外費用		
支払利息	13,895	12,395
持分法による投資損失	22,620	3,445
債権売却損	4,324	4,592
その他	515	931
営業外費用合計	41,356	21,364
経常利益	191,064	331,978
特別損失		
固定資産除却損	997	8,717
ゴルフ会員権評価損	1,020	-
特別損失合計	2,017	8,717
税金等調整前四半期純利益	189,047	323,261
法人税等	97,747	125,573
少数株主損益調整前四半期純利益	91,299	197,687
少数株主利益	437	884
四半期純利益	90,862	196,802

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成24年12月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,299	197,687
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,811	316
為替換算調整勘定	5,582	6,948
その他の包括利益合計	8,393	6,631
四半期包括利益	82,905	191,055
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	82,468	190,117
少数株主に係る四半期包括利益	437	937

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成24年12月20日)
(税金費用の計算) 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費含む)は、次のとおりであります。

前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年9月21日 至 平成24年12月20日)
減価償却費 184,709千円	減価償却費 165,233千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年12月8日 定時株主総会	普通株式	68,882	6.00	平成23年9月20日	平成23年12月9日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月21日 至 平成24年12月20日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年12月6日 定時株主総会	普通株式	68,875	6.00	平成24年9月20日	平成24年12月7日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成23年9月21日 至 平成23年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,652,195	3,468,269	370,755	5,491,221	5,491,221
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,652,195	3,468,269	370,755	5,491,221	5,491,221
セグメント利益	254,798	735,912	92,916	1,083,626	1,083,626

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,083,626
全社費用(注)	877,003
四半期連結損益計算書の営業利益	206,622

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年9月21日 至平成24年12月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計
	みそ事業	豆乳飲料事業	その他食品事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	1,618,760	3,859,258	370,406	5,848,426	5,848,426
セグメント間の内部売上高 又は振替高					
計	1,618,760	3,859,258	370,406	5,848,426	5,848,426
セグメント利益	247,609	836,163	79,739	1,163,512	1,163,512

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,163,512
全社費用(注)	864,299
四半期連結損益計算書の営業利益	299,213

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年9月21日 至平成23年12月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月21日 至平成24年12月20日)
1株当たり四半期純利益金額	7円91銭	17円14銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	90,862	196,802
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	90,862	196,802
普通株式の期中平均株式数(株)	11,480,461	11,479,229

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 1月28日

マルサンアイ株式会社
取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉 田 純

代表社員
業務執行社員 公認会計士 林 寛 尚

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているマルサンアイ株式会社の平成24年9月21日から平成25年9月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成24年9月21日から平成24年12月20日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成24年9月21日から平成24年12月20日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、マルサンアイ株式会社及び連結子会社の平成24年12月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。